

様式第5号(第5条関係)

令和8年1月23日

愛西市議会議長
近藤 武 様

愛西市議会議員 山岡 幹雄

令和7年度政務活動費収支報告書

愛西市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、下記のとおり報告します。

記

1 収入	<u>204,000 円</u>
(政務活動費	204,000 円)
(利息	0 円)
2 支出	<u>142,570 円</u>

(単位:円)

項目	金額	備考
調査研究費		
研修費	142,570	
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
合計	142,570	

3 残余金 61,430 円

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。



様式第6号(第5条関係)

令和7年度政務活動費収支報告書

愛西市議会議員 山岡 幹雄

(単位 円)

	領収書番号	内容	支出額
調査研究費			
			0
研修費	1	市議会議長会研究フォーラム交通費	46,900
	2	市議会議長会研究フォーラム参加費	22,000
	3	市議会議長会研究フォーラム宿泊費	15,400
	4	全国都市問題会議交通費	31,520
	5	全国都市問題会議参加費	13,000
	6	全国都市問題会議宿泊費	13,750
			142,570
広聴費			
			0
要請・陳情活動費			
			0
資料作成費			
			0
資料購入費			
			0
		支出額計	142,570
		収入額計	204,000
		残余金	61,430

様式第7号(第5条関係)

政務活動費支出明細書

氏名		会計年度	領収書番号
山岡 幹雄		7 年度	1
項目	<input type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 研修費 <input type="checkbox"/> 6 会議費 <input type="checkbox"/> 3 広報費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成費 <input type="checkbox"/> 4 広聴費 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費	支出日 令和7年8月10日	
政務活動費 充当支出金額	金. 46,900 円		
按分または 一部充当の場合	政務活動費からの支出割合() 領収書金額 金. 円 領収書原本は () 議員に添付		
支出方法	<input checked="" type="checkbox"/> 全額個人 <input type="checkbox"/> 按分(按分人数 人 1人あたり 円) 按分者名 [] 按分割合の根拠 ()		
内容	市議会議長会研究フォーラム交通費		
《領収書及び購入した物品等がわかる写真等貼付欄》 (往復)8月27日 藤浪駅⇄中部国際空港駅(1,270円×2) (往復)8月27日 千歳駅⇄札幌駅(1,230円×2)			

領 収 証

山岡 幹雄 様 No. _____

★ ￥41,900.-

但し 航空券代として

2025年 8月10日 上記正に領収いたしました

収 入 印 紙	内訳
	税抜金額 38091
	消費税額等 (10%) 3809

近畿日本ツーリズム
愛知県知事登録旅行会社
F B ト ラ ベ ル 式 店
〒484-0066 愛知県犬山市 135-6
カネスエ 1 棟
TEL. 0568-65-2920 FAX. 0568-65-2921
登録番号 T8180001059416

政務活動費支出明細書

氏 名		会計年度	領収書番号
山岡 幹雄		7年度	2
項 目	<input type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 研 修 費 <input type="checkbox"/> 6 会 議 費 <input type="checkbox"/> 3 広 報 費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成費 <input type="checkbox"/> 4 広 聴 費 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費	支出日 令和7年8月12日 令和7年8月25日	
政務活動費 充当支出金額	金. 22,000 円		
按分または 一部充当の場合	政務活動費からの支出割合() 領収書金額 金. 円 領収書原本は () 議員に添付		
支 出 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 全額個人 <input type="checkbox"/> 按分(按分人数 人 1人あたり 円) 按分者名 [] 按分割合の根拠 ()		
内 容	市議会議長会研究フォーラム参加費		
《領収書及び購入した物品等がわかる写真等貼付欄》 会議参加費 9,000円 スポーツと街づくり視察費 13,000円 領収書別紙			

様式第7号(第5条関係)

政務活動費支出明細書

氏 名		会計年度	領収書番号
山岡 幹雄		7年度	3
項 目	<input type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 研 修 費 <input type="checkbox"/> 6 会 議 費 <input type="checkbox"/> 3 広 報 費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成費 <input type="checkbox"/> 4 広 聴 費 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費	支出日 令和7年9月5日	
政務活動費 充当支出金額	金. 15,400 円		
按分または 一部充当の場合	政務活動費からの支出割合() 領収書金額 金. _____ 円 領収書原本は (_____)議員に添付		
支出方法	<input checked="" type="checkbox"/> 全額個人 <input type="checkbox"/> 按分(按分人数 _____ 人 1人あたり _____ 円) 按分者名 [_____] 按分割合の根拠 (_____)		
内 容	市議会議長会研究フォーラム宿泊費		
《領収書及び購入した物品等がわかる写真等貼付欄》 全国市議会議長会研究フォーラム宿泊費(令和7年8月27日) 領収書別紙			

様式第7号(第5条関係)

政務活動費支出明細書

氏 名		会計年度	領収書番号
山岡 幹雄		7年度	4
項 目	<input type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 研 修 費 <input type="checkbox"/> 6 会 議 費 <input type="checkbox"/> 3 広 報 費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成費 <input type="checkbox"/> 4 広 聴 費 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費	支出日 令和7年9月10日	
政務活動費 充当支出金額	金. 31,520 円		
按分または 一部充当の場合	政務活動費からの支出割合() 領収書金額 金. 円 領収書原本は ()議員に添付		
支 出 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 全額個人 <input type="checkbox"/> 按分(按分人数 人 1人あたり 円) 按分者名 [] 按分割合の根拠 ()		
内 容	全国都市問題会議交通費		
《領収書及び購入した物品等がわかる写真等貼付欄》 行程等別紙			

乗車券 (ゆき) (幹)

名古屋市内 → 宇都宮

經由: 名古屋・新幹線・東京・新幹線・宇都宮
10月9日から10月16日まで有効
券面表示の都市市内各駅下車前送無効

¥***

2025.-9.10 蟹江駅MR発行
30031-17 (3-夕) C22

乗車券 (かえり) (幹)

宇都宮 → 名古屋市内

經由: 宇都宮・新幹線・東京・新幹線・名古屋
10月9日から10月16日まで有効
券面表示の都市市内各駅下車前送無効

¥15,400

2025.-9.10 蟹江駅MR発行
30031-21 (3-夕) C22

新幹線特急券

名古屋 → 東京

10月9日 (6:49発) (8:23着) C56
のぞみ 210号 6号車16番E席

¥4,920

NO4710

2025.-9.10蟹江駅MR (3-) 30031-04

新幹線特急券

宇都宮 → 東京

10月10日 (13:35発) (14:26着) C56
やまひこ 54号 6号車14番D席

¥3,240

2025.-9.10蟹江駅MR (3-夕) 30031-09

新幹線特急券

東京 → 宇都宮

10月9日 (8:45発) (9:33着) C21
やまひこ 53号 8号車20番D席

¥2,840

2025.-9.10蟹江駅MR (3-夕) 30031-07

新幹線特急券

東京 → 名古屋市

10月10日 (15:39発) (17:16着) C25
のぞみ 245号 6号車7番D席

¥5,120

NO4910

2025.-9.10蟹江駅MR (3-) 30031-13

6
101
領収書
530803
山岡 幹雄 様

金額 ¥31,520円
[消費税等込・10%]

但し、乗車券類として

上記金額に印税が加算されました

2025年9月10日
名古屋鉄道株式会社
登録番号: 13180001589

ご利用いただきましてありがとうございます

名古屋市中村区
千代田
名古屋鉄道株式会社
印税
印税

蟹江駅

現金出納社員

行程

10月9日(木)

名古屋発	のぞみ	東京行	6時49分	東京着	8時23分	特急料金	4,920円
東京発	やまびこ	盛岡行	8時45分	宇都宮着	9時33分	特急料金	2,840円
						乗車券	7,700円
						小計	15,460円

10月10日(金)

宇都宮発	やまびこ	東京行	13時35分	東京着	14時24分	特急料金	3,240円
東京発	のぞみ	新大阪行	15時39分	名古屋着	17時16分	特急料金	5,120円
						乗車券	7,700円
						小計	16,060円
						合計	31,520円

名鉄の場合 佐屋5時41分 日比野5時44分 津島5時46分 須ヶ口6時3分→6時6分 名古屋6時16分

JRの場合 弥富6時8分 永和6時12分 名古屋6時28分

近鉄の場合 弥富6時5分 名古屋6時33分 厳しい

様式第7号(第5条関係)

政務活動費支出明細書

氏 名		会計年度	領収書番号
山岡 幹雄		7年度	5
項 目	<input type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 研 修 費 <input type="checkbox"/> 6 会 議 費 <input type="checkbox"/> 3 広 報 費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成費 <input type="checkbox"/> 4 広 聴 費 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費	支出日 令和7年10月9日	
政務活動費 充当支出金額	金. 13,000 円		
按分または 一部充当の場合	政務活動費からの支出割合() 領収書金額 金. _____ 円 領収書原本は (_____)議員に添付		
支 出 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 全額個人 <input type="checkbox"/> 按分(按分人数 _____ 人 1人あたり _____ 円) 按分者名 [_____] 按分割合の根拠 (_____)		
内 容	全国都市問題会議参加費		
《領収書及び購入した物品等がわかる写真等貼付欄》 領収書別紙			

会議参加費 領収書

山岡 幹雄 様

金 13,000円

但、「第87回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和7年10月9日

第87回全国都市問題会議実行委
会長 佐藤 栄



政務活動費支出明細書

氏 名		会計年度	領収書番号
山岡 幹雄		7年度	6
項 目	<input type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 研 修 費 <input type="checkbox"/> 6 会 議 費 <input type="checkbox"/> 3 広 報 費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成費 <input type="checkbox"/> 4 広 聴 費 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費	支出日 令和7年11月7日	
政務活動費 充当支出金額	金. <u>13,750 円</u>		
按分または 一部充当の場合	政務活動費からの支出割合() 領収書金額 <u>金. _____ 円</u> 領収書原本は (_____)議員に添付		
支 出 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 全額個人 <input type="checkbox"/> 按分(按分人数 <u> </u> 人 1人あたり <u> </u> 円) 按分者名 [_____] 按分割合の根拠 (_____)		
内 容	全国都市問題会議宿泊費		
《領収書及び購入した物品等がわかる写真等貼付欄》 領収書別紙			

令和7年9月24日

愛西市議会議員
近藤 武 様

愛西市議会議員 山岡 幹雄

先進地調査等成果報告書

研修に 下記のとおり 参加 しましたので、愛西市議会政務活動費の交付
に関する条例第9条第2項の規定により報告します。

記

1. 調査・研修日	2025/8/27/28		
2. 調査・研修先	北海道札幌市中央区北1条西1丁目 hitaru市民交流プラザ 北広島市・エスコンフィールド北海道		
3. 調査・研修内容	地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて 北広島市「スポーツとまちづくり」		
4. 行 程	8月27日往路 名古屋駅⇒中部国際空港⇒新千歳空港⇒札幌市 8月28日研修 会場⇒エスコンフィールド北海道⇒北広島市役所 8月29日復路 札幌市⇒新千歳空港⇒中部国際空⇒名古屋駅		
5. 参加者	全国の市議会議員・議員約2500人		
6. 経費内訳	費 目	内 容	金 額
	参加費	フォーラム参加費 9000 視 察研修参加費 13000	22,000円
	宿泊費	コンフォートホテル札幌すすきの 15400	15,400円
	交通費	航空券 41900 千歳～札幌往復 2460 藤浪駅～中部国際空港往復 2540	46,900円
		合 計	84,300円
7. 成果・提言	別紙のとおり		



先進地調査等成果報告書

地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて

今般、愛西市議会議員として、第20回全国市議会議長会研究フォーラムに参加いたしました。本フォーラムでは、「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」と「地方議会議員のなり手不足問題への取り組み」をテーマに、全国各地の議長、議員が参加して行われました

パネルディスカッション

「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」
近畿大学法学部教授 辻陽氏をコーディネーターに、東京大学教授 牧原出氏、読売新聞東京本社政治部次長 白石洋一氏、山口県宇部市議会議長 山下節子氏、札幌市議会議長 長内直也氏をパネリストとして、「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」と題したパネルディスカッションを拝聴しました。

なり手不足の現状と背景について牧原氏は、地方議会の議員報酬の低さ、長時間労働、地域社会の高齢化、若者の政治離れなどが複合的に影響していると指摘。白石氏は、メディアの報道姿勢が、議員のネガティブな側面を強調しすぎ

ている可能性を指摘しました。

多様な人材参画の必要性について山下氏は、女性や若者、子育て世代など、多様なバックグラウンドを持つ人材が議会に参加することで、住民ニーズに寄り添った政策立案が可能になると強調。長内氏は、議会改革を通じて、議員の負担軽減や活動の可視化を図ることで、なり手不足の解消に繋がると述べました。

具体的な対策の議論では、議員報酬の見直し、ICTを活用した議会運営の効率化、兼業を認めやすい制度設計、議員インターンシップの導入、議会の情報公開の推進などが提案されました。

今回のパネルディスカッションを通じて、地方議会議員のなり手不足問題は、単なる議員個人の問題ではなく、地方自治の根幹を揺るがす深刻な問題であることを改めて認識しました。多様な人材の参画を促進するためには、議員の待遇改善だけでなく、議会改革、地域社会の意識改革など、多角的なアプローチが必要であることがわかりました。

今回の議論で得られた知見を活かし、私も以下の点に取り組んでいきたいと考えています。

- * 議会改革に関する情報を収集し、議会運営の改善に役立てる。
- * 地域住民との対話を積極的に行い、議会活動への理解を深める。
- * 若者や女性など、多様な人材の議会への参画を支援する。

「地方議会議員のなり手不足問題への取り組み」

コーディネーターに牧瀬稔氏（関東学院大学法学部地域創生学科教授）パネリストには今井康善氏（長野県岡谷市議会前議長）平野純子氏（鹿児島県南さつま市議会議員）中野進氏（石川県白山市議会議長）による「地方議会議員のなり手不足問題への取り組み」と題し、拝聴しました。

本パネルディスカッションでは、地方議会議員のなり手不足という喫緊の課題に対し、各自治体での取り組み事例が共有された。今井氏は、議会活動の透明化と情報発信の強化、若者への積極的なアプローチの重要性を強調。平野氏は、議員の仕事と生活の両立支援、特に子育て世代が参加しやすい環境整備の必要性を訴えた。中野氏は、議会改革による効率化と負担軽減、議員報酬の見直しなどを提案した。

牧瀬教授は、これらの議論を踏まえ、なり手不足解消には、議会自体の魅力向上とともに、地域社会全体での意識改革が不可欠であると指摘。多様な人材が参画できる柔軟な制度設計や、議員の役割に対する理解促進の重要性を強調し

た。

各パネリストからは、具体的な取り組み事例や成功事例が紹介され、参加者にとって有益な情報交換の場となった。なり手不足問題の解決には、各自治体の状況に応じた多様なアプローチが求められることが確認された。

全国市議会議長研究フォーラム行政視察

北広島市による「スポーツと地域創生」について

2025年8月28日、北広島市副市長 川村裕樹氏による「スポーツと地域創生」に関する講演を拝聴しました。川村副市長は、スポーツが地域にもたらす経済効果、社会的なつながりの強化、健康増進といった多角的な側面を強調し、北広島市における具体的な事例を交えながら、スポーツを活用した地域創生の可能性について語られました。

川村副市長は、スポーツが単なる娯楽や健康増進の手段にとどまらず、地域経済の活性化、コミュニティの形成、市民の誇りや愛着の醸成に貢献する点を強調されました。具体的な例として、プロスポーツチームの誘致や大規模スポーツイベントの開催がもたらす経済効果、ボランティア活動を通じた地域住民の交流促進、スポーツを通じた青少年の健全育成などを挙げられました。

北広島市では、北海道日本ハムファイターズの本拠地移転を契機に、ポールパ

ークを核とした地域活性化プロジェクトを推進しています。川村副市長は、ボールパーク建設による経済効果だけでなく、地域住民が交流できる場としての活用、新たな観光資源としての魅力創出など、多角的な視点からその意義を説明されました。また、市民が主体的にスポーツに関わる機会を増やすため、スポーツ施設の整備、スポーツ教室の開催、地域スポーツ団体の支援など、様々な施策を展開していることを紹介されました。

川村副市長は、スポーツを通じた地域創生を持続可能なものとするためには、市民一人ひとりがスポーツに関心を持ち、主体的に参加することが重要であると述べられました。そのため、スポーツに関する情報発信の強化、多様な世代が楽しめるスポーツプログラムの開発、地域スポーツを支える人材の育成などが不可欠であると指摘されました。また、スポーツ施設の維持管理、財源の確保、地域住民との連携強化など、解決すべき課題についても言及されました。

川村副市長の講演を通じて、スポーツが地域にもたらす可能性の大きさを改めて認識しました。特に、北広島市のボールパークを核とした地域活性化プロジェクトは、スポーツを単なるイベントとして捉えるのではなく、地域全体の活性化に繋げるための戦略的な取り組みとして非常に参考になりました。

今回の講演で得られた知見を活かし、私もスポーツを通じた地域創生に貢献で

きるよう、以下の点に取り組んでいきたいと考えています。

- * 地域スポーツイベントの企画・運営に積極的に参加する。
- * スポーツを通じた地域住民の交流促進活動を支援する。
- * スポーツに関する情報を積極的に収集し、地域住民に発信する。

様式第10号(第6条関係)

令和7年11月6日

愛西市議会議員
近藤 武 様

愛西市議会議員 山岡 幹雄

先進地調査等成果報告書

研修に 下記のとおり 参加 しましたので、愛西市議会政務活動費の交付
に関する条例第9条第2項の規定により報告します。

記

1. 調査・研修日	2025/10/9・10		
2. 調査・研修先	栃木県宇都宮市みらい1-20 ライトキューブ宇都宮		
3. 調査・研修内容	「成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～」		
4. 行 程	10月9日 研修 午前9時30分～午後4時30分 10月10日 研修 午前9時30分～午前11時50分		
5. 参加者	全国市長・長・議員約1800人		
6. 経費内訳	費 目	内 容	金 額
	交通費	名古屋駅⇄宇都宮駅	31,520円
	参加費	会議参加費	13,000円
	宿泊費	シェラトン・宇都宮	13,750円
		合 計	58,270円
7. 成果・提言	別紙のとおり		



別紙

先進地調査報告書

成熟社会のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～

令和7年10月9日・10日に開催された第87回全国都市問題会議に出席した。「成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり」をテーマに、京都大学名誉教授・広井良典氏による基調講演、宇都宮市長・佐藤栄一氏、東洋大学南学氏、高松市長・大西秀人氏、早稲田大学・森本章倫氏らによる報告・討議が行われた。人口減少・高齢化が進行する中、公共交通を軸とした都市機能の集約、地域の自立性と持続可能性の確保、官民連携（PPP）の推進など、多角的な視点から課題と解決策が示された。とくに、宇都宮市のLRT整備や高松市の中心市街地活性化策は、コンパクトな都市構造の実践例として参考になった。今後、本市においても市民との対話を重ねつつ、持続可能で暮らしやすい都市の構築に向けた施策を推進していく必要があると認識した。

広井良典先生は、人口減少と成熟社会における都市とまちづくりについて、従来の成長を前提とした都市計画からの転換を提唱しています。これからの都市は、コンパクトシティや多中心連携型都市構造を軸に、生活に必要な機能を集約し、効率的な公共交通網で結ぶことが重要だと述べています。

佐藤栄一市長は、人口減少社会における都市の構造改革について、100年先も発展できる都市を目指し、以下の点を重視しています。

まず、持続可能な都市経営のため、公共交通を軸としたコンパクトな都市構造への転換を推進しています。LRT（次世代型路面電車システム）の導入はその象徴であり、公共交通の利用促進、中心市街地の活性化、環境負荷の低減を目指しています。

次に、地域経済の活性化を図るため、企業誘致や新たな産業の育成に力を入れています。特に、成長分野である医療・福祉、環境、情報通信関連産業の集積を進め、雇用の創出と地域経済の多角化を図っています。佐藤市長は、人口減少社会においても持続可能で魅力的な都市を構築し、100年先も発展できる宇都宮市を目指しています。市民一人ひとりが希望を持ち、安心して暮らせる都市を実現することです。

南学氏は、人口減少社会における公共施設マネジメントの鍵として「縮充」という発想を提唱しています。これは、単に施設規模を縮小するのではなく、既存施設の有効活用や複合化、多機能化を通じて、サービスの質を向上させながら効率化を図るという考え方です。

森本章倫教授は、次世代交通システムの導入が、コンパクトで持続可能なまちづくりに不可欠であると提唱しています。人口減少と高齢化が進む現代において、従来の自動車中心の都市構造は、交通渋滞、環境負荷の増大、高齢者の移動困難といった課題を抱えています。

これに対し、LRT（次世代型路面電車）やBRT（バス高速輸送システム）などの公共交通機関を軸としたコンパクトシティの形成が有効です。これらの交通システムは、大量輸送が可能であり、環境負荷が低く、高齢者や障がい者にも優しい設計となっています。

パネルディスカッション

埼玉大学大学院人文社会科学部研究科教授 内田奈芳美

(株)みちのりホールディングス代表取締役グループ CEO(兼)関東自動車(株)代表取締役社長吉田元

まちなか広場研究所主宰山下裕子

北海道室蘭服市企画財政部長高橋知規

鳥取県米子市長伊木隆司

内田奈芳美氏は、成熟社会におけるコンパクトな都市において、「パブリック・ライフ」の再考を提唱。公共空間の質を高め、人々が集い、交流する場を創出することが重要。

吉田元氏は、成熟社会における公共交通ネットワークの進化と持続可能性に焦点を当て、「いくつになっても」「出かけていけ」「出かけたがたい」都市を思案。高齢者や若者など、誰もが利用しやすい公共交通の充実が不可欠であると強調。

山下裕子氏は、まちなか広場研究所主宰として、都市における広場の役割を重視。広場が人々の交流を促進し、地域コミュニティの活性化に貢献すると指摘。

室蘭市長代理として企画財政部長がコンパクトシティ政策を推進。公共施設の集約化や公共交通の利用促進を通じて、持続可能なまちづくりを目指しています。課題解決先進地としての室蘭市の挑戦を紹介しています。

伊木隆司氏は、米子市長として、歩いて楽しいまちづくりを提唱。公共交通の利用促進と歩行者中心のまちづくりを通じて、持続可能な都市を実現しようとしています。誰もが快適に歩ける空間を整備し、健康増進にもつながるまちづくりを目指しています。